

商工会議所からの
情報提供を
うまく活用しています



商工会議所活用術

～ 経営者の身近なホームドクター～

本所を上手に経営に役立てている会員さんの事例を紹介します。
「商工会議所をどんなふうを活用すればいいの?」という方は必見です。

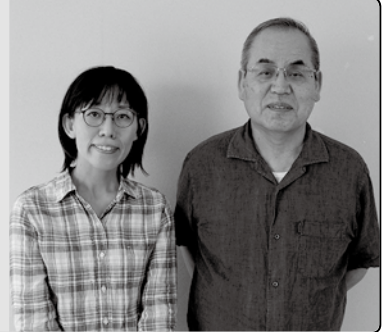
第10回 株式会社 石井商店

はらだ ひでのり
原田 秀則さん
あやこ
礼子さん

所在地：長崎市戸石町2164-17

T E L：095-830-1101

事業内容：冷凍食品製造業



長崎の美味しい魚でつくる 自慢の冷凍食品

石井商店は、戸石漁港近くに工場を構え、長崎県産の鮮度の良い魚にこだわった、冷凍食品の製造・販売を行なうメーカー。

取扱商品は、刺身のほか、塩焼き、西京焼きなどの焼物や、フライなどの揚げ物、煮付けに練り製品と、同社は、県内の水産冷凍食品メーカーとしては随一の幅広い商品構成を誇る。

体の中に入る食品を取り扱うだけに、同社では安心・安全に特に気を配っており、社内に品質管理部門を設置して品質・衛生管理を徹底。

また、原田社長は「長崎の水産業振興を図っていくためには、長崎の海で獲れた魚をそのまま県外の魚市場へ卸すのではなく、県産の魚を地元で加工し、高い付加価値を付けた製品として県外に売っていくことが重要。地元で加工を行うことにより雇用の創出や、所得向上につながり、ひいては地域の発展につながっていくはず」と力を込める。

そんな同社の看板商品「えび串ボール」は発売以来40年もの長い間、売れ続けているロングヒット商品



▲五島湾のアジを原料につくった「豆あじ南蛮」(新商品)

で、地元の人々に中元や歳暮などで利用されるなど愛されている。

商工会議所からの情報を活用して ビジネスに活かす

当社では売上拡大を図るために販路開拓に力を入れているため、商談会の開催情報や販路拡大を目的とした各種セミナー、また、商工会議所以外の機関が行う国内外での展示会や商談会の開催情報、関連する行政の補助金制度等、商工会議所からの情報提供にはいつも助かっています。

特に商談会では、消費者に一番近いところにいるバイヤーと話をすることにより、売れ筋商品や消費者ニーズなど最新の情報を収集でき、また、商品パッケージについても改善すべき点などを指摘してもらえ、ので非常に貴重でありがたい機会だと考えています。

やはり、中小企業者向け施策等の情報を知っているか、知らないかとは、経営に大きく差が出ると思います。経営者は常に情報のアンテナを張り巡らせておく必要がありますので、商工会議所を活用して日頃から情報収集に努めていくことは大切なことだと思います。

商工会議所の利用について

実は商工会議所には入会していましたが、2年ほど前までは、特に接点もなく、また、どのように商工会議所を活用すればいいのかも分から

ず、ただ何となく入会しているという感じでした。

そんな折、当時、使用していた会計ソフトのことで非常に困ったことがあり、当社の専務が1本の問い合わせの電話を商工会議所に入れ、電話に出た堀川さんに解決してもらったことが、商工会議所のことを知る、また、今のお付き合いにつながるきっかけでした。

その後は商工会議所の会報誌である会議所NEWS(本誌)で当社を紹介してもらったり、堀川さんから「今度、県外スーパのバイヤーを連れてきて商談会を開催しますので、都合を付けてぜひ参加してください!」と案内してもらうなど、いつも当社のことを気にかけてもらっています。

経営指導員からひとこと



商工振興課
堀川 勝五

本所では、長崎地域の食品や化粧品、雑貨といった製造業者の販路拡大を支援するため、県外の大手流通小売業者や通販業者、外食のバイヤーを招いて個別商談会を開催しています。

商工会議所では、販路拡大の希望を持っている事業所を積極的に支援しており、今後は「明治日本の産業革命遺産」や「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」など、世界遺産に関連した商品開発や販路拡大支援事業にも取り組んでいくこととしています。

販路開拓についてお考えの経営者の皆様、「経営者の身近なホームドクター」商工会議所にぜひご相談ください。伴走しながらお手伝いいたします!

●ご相談は
本所中小企業振興部まで ☎095-822-0111